

会 議 録

会議名	令和6年度 第2回菊川市総合計画審議会（第4回）
日 時	令和6年12月13日（金）14:00～
場 所	菊川市役所 東館3階 E301・E302 会議室
出席者	委員12名 事務局4名 参加者10名 委託業者2名
欠席者	3名
議 事	<p>互礼</p> <p>1. 開会</p> <p>2. 新任委員の紹介</p> <p>3. 会長あいさつ</p> <p>4. 議事</p> <p>（1）前回審議会までの振り返りと第3次菊川市総合計画の政策大綱について</p> <p>（2）第3次菊川市総合計画における「将来都市構造」案について</p> <p>（3）第3次菊川市総合計画及び第3期人口ビジョンの目標人口について</p> <p>（4）第2期菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の一部改訂について</p> <p>5. その他</p> <p>（1）今後のスケジュールについて</p> <p>（2）高校生まちづくりプレゼンテーション大会の開催について</p> <p>6. 閉会</p> <p>互礼</p>
議事要旨	<p>1. 開 会</p> <p><事務局 開会宣言、資料確認></p> <p>2. 新任委員の紹介</p> <p><事務局 新任委員の紹介、新任委員のあいさつ></p> <p>3. 会長あいさつ</p> <p>会 長： みなさまこんにちは。寒い中、お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。</p> <p>私はそんなに長く話すことはないと思いますので、よろしく申し上げます。</p> <p>4. 議 事</p> <p>会 長： それでは議事に入らせていただきます。議事の方は次第に従いまして進めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。本日は4つの議事がございます。次第の方でございますけれども、前回の審議会、7月まで、今日をもって総合計画の関係は4回目、今年度では2回目となりますが、あと第3次菊川市総合計画の政策大綱といった政策の骨組みについても出てまいりましたので、これについてご意見をいただきたいと思います。また将来都市構造について、これも総合計画にはつきものでございまして、これについても将来都市構造を審議いただくということでご意見をいただきたいと思います。また、人口の目標の数値についてまとまったようでございますのでこれも説明いただい</p>

てご意見をいただきたい。最後は総合計画とは別に、菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略。これは国の関係で各自治体が策定するという、総合計画と結構ダブっているところがございますが、その関係の一部改訂というところもあるということでございますので、それについて話して いただく。以上4件ございますのでよろしくお願いしたいと思います。

それでは早速議事の1本目でございますが、前回の審議会までの振り返りと第3次菊川市総合計画の政策大綱についてということで、資料1-1から資料1-3について説明をお願いします。

(1) 前回審議会までの振り返りと第3次菊川市総合計画の政策大綱について

<事務局説明>

会 長： 前回7月にご審議いただいたご意見を反映した形で今回一部修正していただいたということと、資料1-3のそれぞれの魅力目標とそれに紐づく政策、これは前回ありましたか。

事務局： 今回が初めてです。

会 長： 初めてですよ。ですからこの部分ですね、資料1-3の各魅力目標の政策1、2、3、4、5とか、それぞれ柱ができています。この関係は今回が初めてということでございますので、まず資料1-1について具体的に、前回いただいた意見を反映した関係について何かご意見があればいただければと思います。新しく出てきた資料1-3と、それぞれ政策がどういうまちづくりにするのか、方向性と、ある程度具体的なものが出ていますけれども、この2つについて分けてご意見をいただいた方が後で整理しやすいと思いますので、まずは前回の審議会の意見を踏まえて修正いただいた資料1-1について、何かご意見があればお願いします。

とりあえず良いですかね。まずは資料1-1はということで、たまたもし何か思いついたら言っていただくということで結構です。

それでは資料1-3の方ですね。それぞれ柱立てというかこの各政策に今度は施策としてさらにこういう取組をやるというものがあって、その下に具体的な事業がありますが、事業のレベルは総合計画の関係は出てこないか主な取組で出てくるくらいかもしれません。まずこの政策立ての所でご意見がございましたら、今日初めてご審議いただくのでこの関係をお願いしたいと思います。

委 員： 今回、資料1-3をもらって、魅力目標、その下に政策がありますよね。これをずっと見ていた時に第2次菊川市総合計画の政策と一緒にじゃないか。端的に言ってですよ。新しいものとか部分の並び替えとかいろいろありますけれども、基本的に一緒にじゃないか。要するに27の政策があるんですけども、今回、第2次から継続しているものは何なのか。落ちたものは何なのか。新しいものは何なのか。その判断なんですけど、いろいろ事業評価していますけれどもそれについてなぜやっているのか。失礼な言い方をす

ると第2次とほぼ同じ。今までいろいろ検討してきましたよね、目標とか政策とか。目指すところが第2次と文言は違っていても、それを実現するための政策が一緒だったなら、これなんだろうな、という風を感じたということです。ということでその政策、今年度も27本ありますよね。それを決めたといいますか考えたところを説明いただきたい。特に継続、新規、廃止って言うかやめたものですね。それもわかる。それと各魅力目標に紐づく政策において、大体、魅力目標ごと5本、6本あるんですけど、魅力目標2の「安心」だけですね、政策が2本しかないですよ。なんかパッと見た印象で、魅力目標2の重要度っていうか、なんか魅力目標2については軽いんじゃないかな、という風に思われるところです。その魅力目標2の政策についても、防災力を高めるまちづくり。これ以前もありましたよね、同じ文言で。消防力もありますし。そういうことで、バランスをとれた政策っていうのも必要じゃないのかなと感じたところです。以上です。

会 長： ありがとうございます。では今の段階でお答えというか考えですね。今回第2次と第3次の政策レベルなので、中身の施策ではまた色々違うといったことがあると思いますが、政策レベルでの柱立ての組み換えというか違いについて、どういう点が第2次と違うのかと聞かれた場合にどういう答えになるかということです。

事務局： ご質問ありがとうございます。柱立てと言うか、目標の分野につきましては、先ほどご説明させていただきましたような形で、まず魅力が低かったカテゴリを順に高めるという形で並べ変えております。政策の分野につきましては、確かにご指摘の通り第2次と変わらないといったご意見もあろうかと思えます。まず大前提としまして第2次の計画の方の柱立てをまず参考にさせていただいた上で、第3次に向けてどういった形にしていくかって言ったところで検討を進めてきた形となっております。それでパッと資料が出てこなくて申し訳ないのですけれども、どこが廃合してどこの所が何個落として、何個くっついたとか、パッと数字が出なくて申し訳ございません。基本的には言葉に関しまして大きく変更がなかったところが結果的にちょっと多くなってしまったかと思いますが、計画本文の内容につきましては、今度、第2次の反省を踏まえながら、第3次、次の8年間を見据えた内容という形で変更はさせていただこうと考えております。

会 長： 結局この政策の下の施策の項目を見ないとあまり違いがわからないかもしれません。簡単に言うとそのレベルは変わっているけれども、政策レベルでこう書くとあまり大きな違いはないっていうように見えてしまう。その並べ替えとかってもちろんあるんだけど、政策レベルではそんな多くない。その政策の下の施策レベルで違いがあって、その政策が違っていると、また事業がまた変わってくると思うけど、そういう理解でいいですか。

事務局： 確かに、政策の名称につきましては変更したところが少なくなっているとは思いますが、また施策のところに関しましても変更をさせていただいたところもありますし、特に計画書の内容について、第2次を踏まえて第3次の計画期間の8年間を見据えた形では変更をさせていただいて、今作業中ではありますけれども、進めさせていただ

ております。

委員：失礼ですけど、言わせてもらおうとこれですね、魅力目標1の、例えば「次世代」ありますよね。以前の基本目標1「子どもがいきいきと育つまち」と基本的には政策名称が全部一緒ですよ。そして魅力目標2の「安心」。これは防災力と消防力。これも政策名称は一緒で、第2次の基本目標と比べると掲げている場所が違ったのかな。魅力目標の「安心」ではなかった。魅力目標3「幸福」については政策6と政策7、これ言葉が違うんですけど中身的には一緒にみえる。生涯学習といった言葉を以前は使っていましたがね。魅力目標4「快適」についても、政策5と政策6が、第2次と比べてちょっと分野が変わってきたっていうか、それで入れ替えをしているだけで中身的には一緒。また、魅力目標5「躍動」の政策7は新しい項目ですよ。あとは基本的に全部一緒。要するに、政策が全部一緒で、今までずっと基本目標、基本構想はいろいろやってきたんですけど、目指すところが第1次、第2次、第3次、色々ちょっとずつ変わっていたんですけど、それを実現するための政策が、細かいところを省いたとしても政策が一緒なのに、目指すところが違うっていうのはどういうものかなと思いました。要するに目標が下から積み上げてきて、下が一緒なら行き着く上だって、多少は違うのかもしれないけど、基本的に一緒になるんじゃないかと。上が全然違うのに下が一緒っていうのはどうかと。資料を見てちょっと思って。細かい事業、会長が言うようにまだないものですから。細かい事業で、これから色々色付けしてくる味付けしてくるということだったらまたそれもありますけどね。これだけの資料だと、なにこれって。だったらなんで基本構想をこんな時間をかけて一生懸命やってきたんだと。やることが一緒なんだたらって。何かそんな感じも思ったものですからね。申し訳ないけどちょっと言わせてもらいました。

会長：ありがとうございます。各魅力目標に今政策が、大きく柱が1・2・3・4とあって、そこに施策レベル、内容の項目が出てくると思うんですが、それは次回出てくるんですか。

事務局：施策につきましては次回出させていただきますし、また具体的な計画書の内容につきましても次回示させていただきます。確かに政策に関しては分野の中でもかなり大きい分野になりますので、名称をかなり変えるということも、なかなかこれまでの9年間の中でというとなかなか反映するところもなかったという結果となってしまったかと思えます。先ほどもお伝えしました通り、内容につきましてはもちろん今回の将来像実現に向けたような形で目標等内容に変更をかけていきますので、またそれは次回示させていただきます。

会長：他にいかがでしょうか。

委員：私がこの資料1-3だけを見た限りの感想、意見です。5つの魅力目標が、大体2文字とか3文字で、「次世代」とか「安心」とか言っている、もっとこの下の内容を見たところ

ろ、例えば「次世代」っていったら、次世代の産業とかですね、やっぱりDXであるとか。そういうようなイメージがパッとこうまず連想をするんですよね。ここが、例えば昔の言い方の、「子供がいきいき育つまち」とかっていうようなことの説明がどこかに書いていないものですから。「次世代」ってとりあえず言っているけども、実はこういったことなんですみたいな説明が恐らくあると思うんですよね。そのため、そういうのがないと「次世代」って、子育て・教育って言われると、今連想するものがちょっと違ってきちゃうっていうか。例えばこのスポーツ。「幸福」でスポーツとかって言われても、スポーツはやっぱり「躍動」でしょうとかですね。最後の「躍動」って、産業振興の話ですよね。だけど、何か「躍動」という一言で何か言葉をまとめているようにしか見受けられなくて、ちょっとイメージが合わない。2文字、3文字でうまく表現しようというのはわかるんですが、そこに紐づかれる分野のものと照らし合わせると、何かピンとこないなっていうのが私の単純な意見、感想です。この2文字、3文字の下に2行、3行説明があって、それでとりあえず2文字で、3文字でこうしたけれども、っていうのでないと、これ見た限りだと上と下が合っていないなっていう印象が非常にするというように思います。以上です。

会 長： 今、ご指摘のあった「次世代」とかそれぞれの説明というのは、実はその前に出てくるんですよね。

事務局： 今回体系という形で出させていただいたのでこの形になっていますけれども、また計画書等を示す時には、その分野がどういった分野でまとまっているかといった補足や説明を入れた形で示させていただこうと思います。

会 長： 多分急にこれが出てくると混乱するかもしれませんね。その前に「次世代」というのがどういうことかというのがその前にあって、それで出てくるということですね。ありがとうございます。

他にいかがでしょうか。私も総合計画の策定事務を小笠町役場にいた平成6年や、県の総合計画の策定事務を平成7年と平成17年にやったんですけど、つくっている本人はだんだんと全部頭に入っちゃうもので、パッと見たときにわからなくなっちゃうんですよね。自分の中ではでき上がっているものだから。結構そういうところがありますので、是非パッと見たときに、あれ？というところが外で気が付くことが結構大事なことだと思います。いろんな目で見てもらいたいです。何回も見ているとだんだんとわかなくなっちゃうんですよね。私も自分でやっていて昔はそうでしたけれども。いかがでしょうか。違う目で見たら非常に違うんじゃないでしょうか。

委 員： 資料1-1の話になってしまいますが、体系の方の話でちょっとみなさんと違う目線かもしれません。魅力目標があり、総合戦略があり、それを強化する強化戦略として「安全安心」から「SDGs」までであるという話があったんですが、ここの紐づけがまだイメージがわからなくてですね。資料1-3で魅力目標に対して政策というものが展開されるというのは何となく理解したんですが。これを強化する強化戦略というのが、ここにまた

「安全安心」という言葉が入っていたりとか。魅力目標に「安全」があるんだけど強化戦略が「安全安心」ということだとか。なんとなく「デジタル」というのは魅力目標から全部にデジタルを活用して強化するというのは何となくぼんやりわかるんですけど、「安全安心」が魅力の方に入っていたり強化の方にも入っていたりということを含め、強化戦略の方の位置づけがどう魅力目標と政策にかかわってくるのかということがパッと見てイメージがわからなかったんで、そこの補足をいただけるとうれしいです。

会 長： 資料1-1の4ページですね。この強化戦略で出ている「安全安心」とか、この位置付けとか、これは何なのかっていうところをもう1回お願いします。私自身もちょっと疑問に思っている部分です。どうぞお願いします。

事務局： 今、委員から話があったように、こちらの5つの視点につきましては魅力目標の1から5とか、総合戦略の人口の視点を、いわゆる横串を指すようなイメージです。「デジタル」に関しましては、委員が言われましたように、これは確かに魅力目標の5つに関わるなどといったご意見あったかと思いますが、例えば「安全安心」につきましても、言葉だけを見てしまうと確かに防災的な視点が多いかなとは思いますが、例えば子育ての中には安全な給食とか、例えば安全な通学路とか、そういうところも考えていることもあります。また「多様性」に関しましては、年齢とか性別とか国籍とかといったところはやはりどこの分野にも関わってくる。そういった視点を持って事業を進めていくというイメージとして、項目として出させていただいた形になっております。

委 員： そういう意味ではこの強化戦略という話というのはこの政策とはまた別で何か出てくる話でしょうか。細かな事業と言いますか、戦略というか。

事務局： 実行計画の中に、こちらの方は具体的な行政の事業計画という形になりますので、こちらの具体的な事業の中で5つの強化戦略の視点が当てはまっている事業につきましては、何らかを示させていただきます。ここの取組が、多様性に特にこう気をつけてやっていくんですといったようなもので、出させていただきます。

委 員： それは政策に基づく話とは別で、事業としての話ではないのですか。

事務局： すみません、ちょっと行政的で難しいと思うんですけども、政策がありまして、今回ちょっとお見せできなかったのですが、資料1-3の下に施策があって、そこまでが基本構想になります。そのため、資料1-1の4ページの絵のうち、「基本構想」とかかれた部分が政策と施策の部分になっております。その下の「実行計画」という、施策のさらに細かく具体的な事業がついてくるといったところが実行計画となっております。すべてトーナメント表で結びついてはおります。

委 員： 分かりました。政策があり、そこに紐づく施策があり、その施策というものをもとにした細かな事業の計画があるという階層構造で、そのもっとも小さな事業一つひとつに

対しては、「多様性」とか「デジタル」とかああいうことをポイントとして、意識をしながら事業をやりますよという。そんなイメージで持っていけばいいですね。

事務局： そうですね。資料1-1の3ページ目に「視点」といった言葉を使っているんですけども、ここを「戦略」というと難しくなってしまいますが、「視点」といった方がしっくりくるかなと思います。まず事業を行う中で、確かに事業においては全くこの5つの視点が入らないものの中にはあるかもしれませんが、一応この視点を意識した中で、この5つの視点に当てはまるものについてはいわゆる強化事業といった位置づけにしていこうと考えております。

委員： ありがとうございます。わかりました。

会長： 私もそうだろうなと思っていたんですが、だとするとこのところの資料1-1の4ページの表、またこの表がそのまま計画に掲載される訳でもないかもしれないですけど、資料1-1の3ページの方に視点として「人口減少」、「安全安心」、「多様性」、「デジタル」、「脱炭素」、「SDGs」という言葉がもともとありますよね。その後、資料1-1の4ページの表に「強化戦略」という言葉として5つが出てきていますが、この「強化戦略」は、「視点」と同じということによろしいですか。

事務局： そうですね。「視点」という名称よりは、上の総合戦略というものがあったものですから、「戦略」で名称をそろえさせていただこうと思ひまして、「強化戦略」といった名称とさせていただきます。ただ、今、会長からご指摘いただいた通り「強化視点」と言い換えても問題ないかなと思いますので、もし今回のご意見ということで、やはり「戦略」というより「視点」といった方が委員のみなさまもまた市民のみなさまもわかるということであれば、修正はかけていこうと思ひます。

会長： そうすると、「人口減少」というのが視点にあるのに、資料1-1の4ページの表には「人口減少」の視点が出てこないのは、総合戦略の方にその視点が入っているからということによろしいですか。

事務局： そうですね。その形になります。

会長： ちょっとそこはわかりやすくした方がいいですね。他にいかがでしょうか。またこの資料1-3の方の関係で、これに続く次の施策、個別の事業は別として。施策が出てこない結局は、イメージがわからないかと思ひます。それでは、まずは今日ご説明いただいてこういう形だということなので、またお気づきの点があればいただくということと、次回この下の施策を書いたA3くらいの、そのレベルでもう一回確認させていただくということでもいいですか。次回そんな感じで出てくるという理解でもいいですか。

事務局： 次回に関しましては、計画書を冊子の形で示させていただこうと思ひます。ただ、さ

すがに膨大な量となってしまいますので、そこはかいつまみながらといった形かなと思います。

会 長： ただA3で1枚である程度つくっていただきたいです。主な施策とか、全部は書けなくても、何か一覧のものがあつた方がいいかなって気がします。というのは、「この政策は、この魅力目標に紐づけられるのではないか」といった議論がしやすいかと思うので、1枚ペーパーで見られると良いと思います。

事務局： わかりました。

会 長： ではよろしいですか。次回またそのところでもう一度よく見ていただくということで、また事前に送っていただくと思いますのでよろしくお願いします。では議事も4つございますので、次の方に進めさせていただきます。

総合計画では将来の都市構造ということで、将来の都市の構造が主に土地利用だとか主な幹線道路だとか、そういったある程度大きな都市の骨格となるようなものがどういう構造になるのかということを示すということがありまして、それが資料2-1と資料2-2の関係になりまして、それを説明いただきます。

(2) 第3次菊川市総合計画における「将来都市構造」案について

<事務局説明>

会 長： ありがとうございます。私も、たまたま総合計画審議会以外に都市計画審議会も今回委員をやっているの、都市計画の方の、都市計画審議会の都市計画マスタープランとかですね。そちらとの整合でつくられているというのは大体見れば私はわかるんですが、これはパッと見ると、なんだろうなっていうところがあるかと思います。要は資料2-2の3ページにある将来都市構想図、これが総合計画上は重要で、まずは一つある程度イメージをちゃんと出すということであつて、この説明としては、まず「コンパクト＋ネットワーク」で各地域の中核的な拠点をちゃんと交通ネットワークで結んでということと、あと私が説明しても何ですが、人や企業が立地する場所、特に今回は資料2-2の3ページ目の駅北構想ゾーンという形で、菊川駅北口の周辺の新たな都市基盤・都市拠点としての整備を、住居の立地や商業立地ということがあつてということが2番目になります。3番目ではやはり牧之原台地ですね。農地も含めた全体としての自然環境やそういったものともちゃんと調和した土地利用を一所懸命やっていますよということ。4番目は各地区でのコミュニティや連携をやっていくということ。5番目は市全体では意味合いを、拠点的などころも力を入れていくということ。6番目は防災関係ということになっていると思います。それらを説明文で書いてあつて、すべてを図には落とせないものですから、菊川市の全体の骨格的なものを示して。あとゾーンとして特に拠点となるところを示しているということになろうかと思います。補足説明をさせていただきますとそんな感じかなと思います。それではいかがでしょうか。どんな印象を持ちましたでしょうか。

委員：特に防災、小笠地区の学区で水害の話はよく聞きますので、その辺しっかり対応ができれば本当に良いと思います。どのようになるか注目をしたいと思います。あと、防災と直接関係ないですけど、意見として。今年、ここ2、3日大分寒くなって真冬に近くなってきましたけど、ほんの1か月前までは暑いな、いつになったら秋なるのかと思っていたんですよ。そして、秋になったと思ったらもう冬になっちゃったと。これはもう地球温暖化につながっていると思うし、防災に関係あると思うんですよ。集中豪雨とか、線状降水帯とか、最近出ましたけど。だから地球温暖化に何とか菊川市が取り組んだりしても、日本全国世界的な話なのでどうしたら良いかわからないのですが。とにかく今のままでは雨の状況も良くなることはなくて悪くなる方向だと思うし、気候もあるだろうし、そこの地球温暖化に対する市町の小さい取組だけでも、そういうことをもっとなんかできないのかなというように思います。菊川市と掛川市のごみ処理場のニュースなんかを聞きますけどね、ごみ処理場が今壊れているので、新しいごみ処理場を計画しているようですけども。菊川市はごみの分別を、静岡県の中でも特に頑張っているという話は、そういう情報は聞きます。そういう中で、私はもう定年して10年以上他市の方へ再就職で行っているんですけども。その市のごみ出しというのはプラスチックも何もかも全部一緒。もう10年以上一緒なんですよ。それで最近の新聞に、来年度から、分別するよという記事がありましたが、今更分別かという感じでね。自分の家もさすがに汚い紙は焼却せざるを得ないですけど。あとお菓子の袋とか、ビニールゴミとかでもちゃんと分別して、それはもう市内でそういうような宣伝がされているし、当然だと思ってやっているつもりです。ちょっと外に出るとそんなことやっていない。それで話を聞くと、その市の人は面倒くさいなど、そういう状況なんですよ。だから菊川市、掛川市が頑張っただけで、周りがそんな状況になってない。それはもうどうすべきかといった意見です。何とかしないと本当に大気がなくなって地球の環境がどんどん悪くなる。防災だってもっと大変になると思います。以上です。

会長：ありがとうございました。この将来都市構造という点では何かございますか。それでは、これも何かあれば直接事務局の方をお願いします。

それでは議題の3番目でございますが、目標人口の関係ですね。この関係の説明をお願いします。

(3) 第3次菊川市総合計画及び第3期人口ビジョンの目標人口について

<事務局説明>

会長：ありがとうございました。まずは説明をうかがった中で何か質問とか確認とかご意見とかありましたらお願いします。

ちょっと確認ですけど、この資料を見ていると他の市と結構違う。私は、今、総合計画審議会の会長を5つか6つやっていますが、そもそも社人研の推計がどんどん上振れしていく市っていうのはなかなかそんなにはないように思っています。要は社人研っていうのは全国の都市の推計をやっているわけで、普通は全国的に思ったより悪くなって

いるところが結構むしろ多くなって、昔推計した時よりももっと減っていくよというのがあります。菊川市の場合は10年前に全国的に推計やった中で、2013年公表の数値に比べて7千人も上振れして推計が見直されているということ自体が、これ結構特殊かなという点は感想としてあります。したがってこの資料3の2ページ目のところを見ると、普通だと社人研の、推計と目標って違いますよね。推計ってのは一定の条件を当てた時にこうなるだろうっていう見通しですが、目標っていうのはそれに対してさらに何か施策を講じてより良い方向にもっていくことなので、要は社人研の推計がどんどん上がっているものだから目標との差は狭まっているけど、以前よりも目標値は上がっているんで社人研の推計と目標との差は、以前は5千人だったものが2千人になっているところが他の市町とは違うのかなと思います。実際の目指すところが上がっているからですね。ちょっとなかなか他の市町とはちょっと違うのかな。あとは菊川市の場合、菊川駅の北口ができて、北口の周辺に商業やもっと住環境とか、全市的にももちろんあります。そういう意味ではそういったところのこの資料3の4ページの中に取り組の方向性として良好な住環境の整備とありますが、これは住宅地だけじゃなくて住むためのいわゆるスーパーとかドラッグストアとか、そういったものを含めた住環境ということで、こういったところが移住定住っていうんですかね。住んでいただく、また若い人が出ていかないでやっぱり結婚したら戻ってこようと、ということが重要なと思います。

副会長： ここでは、人口減少が抑えられてよかったなっていうことに読むんでしょうけれども、それで喜んでばかりはいられないっていうのは当然市の方はわかっているんじゃないですかね。それが増加の理由、主な理由が外国人の転入超過。これは、別に外国人の方が来るのを拒むとかそういうことではないです。大いに受け入れて多文化共生どんどん進めていけばいいんですけれども、ただ現実的には外国人が多く住んでらっしゃるところは自治会に加入しないですとか、それから教育現場で学校の先生が困っているとか。そういった現実的な課題がいっぱいありますので、教育、日常生活、コミュニティ、それから雇用。あらゆる面で外国人の方を受け入れて日本人と同じように生活してコミュニティが形成されていく。地域が一体となって豊かな暮らしをしていくという方向性を忘れないようにしていかないと、そういう問題意識を常に持っていないといけないなというのを、今、説明を聞いていてもう一度思いを新たにしましたところですよ。

会 長： ありがとうございます。

委 員： まさにお話の通りだとは思いますが、菊川市の場合は外国人の転入が他の市町と明らかに違ってそれが特殊要因になっていると思います。人数だけで何人とか、それこそ推計が目標何人と言われても、そこは政策的に中身はよくて、単純に言えば菊川市に住んでいる外国人をどれくらい受け入れるからこれくらいの目標とするっていうような、そういう内訳がないと政策には私はならないと、申し上げたいと思います。以上です。

会 長： 何か事務局の方で追加はありますか。

事務局： 今、委員からご指摘いただいたところは全体的な数値だけではなく、この数値の内訳的などところもといったご指摘でとらえればよろしいでしょうか。

委員： これだけ見ると菊川市の人口が減ってなくて非常に問題がない、そういった地域ですというようにしか見えません。ということよりもやはり今、特に日本人の子供を産む出生率がどんどん低下して、地域も非常に苦しい状況になっている。そういったものが背景にあるのがやはり人口をどうしていくかっていうのが政策論ですので、この人数がどうのこうのってだけですと特に問題ないよね、外国人さえしっかり受け入れていけばいいんだよねっていうようにしか見えません。ですので、そこはもう少しはっきり菊川市のそういったものの特徴であるとかを書きながら人口はこういうように考えていくっていうようにしないとわかりにくいなということです。以上です。

事務局： ありがとうございます。今、ご指摘いただいた点なんですけれども、また計画書の中には人口分析をさせていただいた結果等を踏まえたところを補記させていただく予定です。確かに、今回は結論だけをご説明という形になって少し乱暴だったかと思えますけれども、次回は少しその辺はこういった状況で今こういった状況になっているよというところを、ご説明させていただこうと考えております。

会長： ありがとうございます。私もね、政策の方を言ってしまったので、これは今日の議題としては単に全国共通のルールで出した数値の話でございますので、それとしてはこうだということによろしいでしょうか。

ではもう一つ議題がございますので。今度はまち・ひと・しごと創生総合戦略というものが国の方でつくるように自治体に求めている、策定がされています。ちょっと総合計画とダブっているところがあつてわかりにくいかと思います。この関係で、県もそうなんです、総合計画と一体的な策定をする方向になっております。近隣の市町も今までは別立てで立ててきたけれど、内容は相当ダブっているという中で、そういったこの策定スケジュールを、それに伴う関係で一部入ってくるようですので、その関係の説明をいただきたいと思えます。

(4) 第2期菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の一部改訂について

<事務局説明>

会長： ありがとうございます。菊川市に限らず県内各市で行われているということでございます。要は総合計画と別々でつくっていたこと自体があまりよろしくなかったんですが、これから総合計画と一体化する関係で策定年次を合わせないといけませんので、そういう意味では機械的というか形式的な調整をしていくということになります。デジタル等を踏まえた中身の改訂についてはそういう方向で改訂されていくということになります。何か確認等ございますか。

それではその他の関係については説明がありますか。

5. その他

(1) 今後のスケジュールについて

(2) 高校生まちづくりプレゼンテーション大会の開催について

<事務局説明>

会 長： ちょっと確認ですが、次回計画書が文言ベースで出てくるようなことで先程お話があったんですが、文言の細かい所は委員が全部チェックすることもないので。やはり一覧表で全体がわかるような資料をつけていただいて、審議会ではそちらをメインで説明をしていただきたいです。一筆一筆この書きぶりが、というところは役所の方でやっていただいて、ただ、どこが特に今までの計画と新たに策定するところで違うのかっていう、そこをポイントを説明をお願いします。例えば計画書の方に、ちょっとこのところが違ってこういう記載が加わっている、とか。そこをメリハリわかるようにお願いします。全部を読んでっていうわけには、なかなか理解するっていうのは大変なので。そこはちょっとよろしくをお願いします。次回はそういうことで具体的な施策レベルで。個別の事業じゃなく施策レベルの内容のものとか、主な取組が出てくると思いますので、今までと新しい点とか変えた点わかる資料でお願いしたいと思います。

6. 閉 会

副会長： お疲れさまでした。ありがとうございます。前回同様にですね、大変積極的なあるいは建設的なご意見いただきまして誠にありがとうございます。総合計画、それから総合戦略次期の策定に向けて、またさらにみなさまのお知恵を頂戴したいと思いますので、どうぞこれからもよろしくお願いいたします。本日はどうもありがとうございました。

<事務局：閉会宣言>

以上